

R

RITSUMEIKAN

2012年度 第24回 立命館地理学会大会

(共催：立命館大学文学部地域研究学域、後援：立命館大学人文学会)



Ritsumeikan Geographical Society

日時：2012年12月1日(土) 13:00～17:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス 以学館1号

「京都をめぐる文学・歴史と地域研究」

古都・京都を舞台とする文学作品は、古代から数多く存在する。それは、京都が日本の政治・経済、そして文化の中心であり続けてきた歴史によるところが大きい。このような京都が描かれた文学作品や歴史性を解明する研究は文学、歴史学だけでなく、地理学も重要である。京都をめぐる文学・歴史学・地理学から新しい地域研究のアプローチについて考えてみたい。

スケジュール

13:00 開会(開会の辞：河原典史 集会委員長、代表挨拶：矢野桂司 教室主任)
来賓挨拶(上海師範大学旅游学院)

※卒業論文発表(13:15～13:35)

村上晴澄(立命館大学大学院文学研究科)

「京都盆地西部における古代山陽道の復原—長岡京・平安京期を中心に—」

※シンポジウム(13:35～16:15)

13:35～13:45 【趣旨説明】河原典史(立命館大学文学部・教授)

13:45～14:15 【講演1】米田真理子(神戸学院大学法学部・准教授)

「『徒然草』の舞台」

14:15～14:45 【講演2】高橋昌明(神戸大学人文学研究科・名誉教授)

「あの史跡に学問の光をあてると・・・」

14:45～15:15 【講演3】片平博文(立命館大学文学部・教授)

「白河法皇の怒りと歎き—歴史地理学から「天下三不如意」の本音に迫る—」

(休憩) 15:15～15:30

15:30～16:15 【パネルディスカッション】

座長：加藤政洋(立命館大学文学部・准教授)

パネリスト：上記講演者3名

ディスカッサント：田中聡(立命館大学文学部・教授)

河角龍典(立命館大学文学部・准教授)

16:15 閉会(閉会の辞：河原典史 集会委員長)

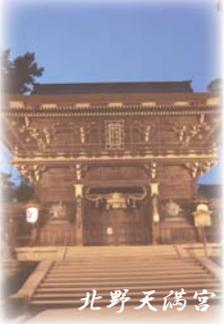
※学生会員は退出

※総会(16:15～17:00) 進行：河角龍典(庶務委員長)

石水院(高山寺)



嵐山



北野天満宮



上七軒



石水院



東寺



神護寺